

一般社団法人佐賀青年会議所 2026 年度 基本方針	
国家グループ 人財開発委員会 委員長 荒尾 淳太	
委員会の基本方針	地域の未来を担う傑出した若者を発掘し、豊かな人財が溢れる佐賀へ。 私たちは、未来を創る青年として自らの成長を原動力とし、会員拡大運動を通じて新たな仲間を迎え入れ、互いに高め合うことで、地域の発展に寄与できる人財を育成します。佐賀のまちを想い、行動する若者が自らの可能性を信じ、地域を誇れる未来へと導く運動を推進します。
委員会の設置背景	佐賀県では人口減少が続き、特に 10 代から 30 代の若者の県外流出が課題となっています。進学や就職を機に佐賀を離れる若者が多く、地域の魅力や活躍の機会が十分に伝わっていないことが、定住意向や地域への愛着形成に影響していると考えられます。また、佐賀を誇りに思い、地域のために行動したいと考える若者がいたとしても、地域で挑戦するための環境や仲間との出会いの機会は、まだ十分に整っているとは言えません。
委員会の設置目的	傑出した若者の発掘と育成、そして持続可能な会員拡大を実現することで、佐賀青年会議所が地域に必要とされる組織であり続けることを目的とします。
委員会概要	<p>1. 個人の資質開発・人財育成(JCI プログラム導入)2 月～7 月、11 月例会</p> <p>入会後の早期定着と自己成長を目的に、これまで LOM では開催していなかった JCI プログラムを佐賀青年会議所で開催します。メンバー各々がリーダーとしての自覚を持ち、地域社会の課題に挑戦する意識を醸成します。学び・実践を通じて、地域課題に向き合う力を育みます。また佐賀ブロック協議会と連携し、主要プログラムを共同で開催することで、県内青年会議所全体の育成力を高め、持続可能な地域の未来を担う人財を輩出します。</p> <p>◆パートナー</p> <p>1)日本青年会議所 組織グループ(協力)</p> <p>2)佐賀ブロック協議会(協力)</p> <p>3)佐賀県内各 LOM(連携)</p> <p>2. 幸せな社会(Well-being)・会員拡大・定着支援</p> <p>既存会員一人ひとりの意識向上を図り、会員拡大を特定の担当に委ねるのではなく、組織全体で取り組む運動として推進します。あわせて、新たに入会したメンバーが安心して活動に参加できる体制を整えるとともに、挑戦と成長を実感できる関与の機会を設けることで、会員の定着率向上を図ります。これらの取り組みを通じて、会員一人ひとりが青年会議所活動にやりがいと誇りを持ち、主体的に地域課題へ挑戦する人財へと成長することで、組織力の向上につなげます。その結果、地域社会に対して継続的かつ質の高い価値提供が可能となり、青年が役割と成長を実感しながら活躍できる、Well-being の高い社会の実現に寄与してまいります。</p> <p>◆パートナー</p> <p>1)日本青年会議所(協力)</p> <p>2)九州地区協議会(協力)</p> <p>3)OB・関係団体(連携)</p> <p>3. TOYP(傑出人財発掘)</p> <p>地域で活躍する若者を発掘し、佐賀版 TOYP の実施を通じて、その活動や想いを広く発信することで挑戦を可視化します。地域内外の青年層を対象に、社会貢献への関心を喚起するとともに、入会につながる機会を創出します。あわせて、佐賀県内で社会に価値を生み出している若者を発掘し、面談や取材を通じて挑戦の背景や想いを丁寧に掘り下げます。これらの推薦活動を通じて地域にロールモデルを示し、次の挑戦者を生み出すことで、人財の連鎖が生まれる好循環の構築を目指します。</p> <p>◆パートナー</p> <p>1)日本青年会議所 TOYP 委員会(協力)</p> <p>2)佐賀ブロック協議会(協力)</p> <p>3)佐賀県内各 LOM(連携)</p> <p>4)行政・教育機関(連携)</p> <p>4.【70 周年記念事業】70 周年記念式典</p>

	<p>70 周年記念式典は、佐賀青年会議所が 70 年にわたり積み重ねてきた歩みと、地域のために行動し続けてきた先人の志に改めて敬意と感謝を表するとともに、その誇りと覚悟を次代へと継承する場として実施します。本式典を通じて、次代を担う青年一人ひとりが、佐賀青年会議所の存在意義や地域社会における役割を再認識し、「佐賀の未来を創る当事者」であるとの自覚を深める契機とします。また、70 周年を単なる通過点ではなく、積み重ねられた歴史と力を未来の行動へと転換する起点として位置づけ、地域や関係諸団体とともに次の時代へ踏み出す決意を内外に示します。</p>
	<p>◆パートナー</p> <p>1)佐賀青年会議所シニア・クラブ</p>
	<p>5.河川清掃</p> <p>佐賀青年会議所は、昭和 55 年より河川清掃に取り組んできました。その後、「川を愛する週間」の開始をきっかけに、市民とともに行う河川清掃へと広がり、地域に根付いた活動として続いています。この取り組みは、身近な自然に感謝し、地域と一緒に行動することの大切さを学ぶ機会でもあります。地域団体のリーダーとして、こうした想いと行動を次の世代へつないでいくためにも、私たち自身が率先して関わり、自然を大切にす気持ちを地域全体に広げていきます。</p>
	<p>◆パートナー</p> <p>1)佐賀市</p>
	<p>6.薩長土肥の会参加者への支援</p> <p>薩長土肥の会を実施する公益社団法人鹿児島青年会議所、一般社団法人萩青年会議所、公益社団法人高知青年会議所、一般社団法人佐賀青年会議所の四青年会議所は、過去から現在に至るまで、多くの諸先輩方によってつながれ、育まれてきた薩長土肥の絆を受け継いできました。私たちはその歴史と想いを大切にしながら、世代を越えたつながりを次代へとつなぎ、地域を越えた学びと交流を深めていきます。</p>
	<p>◆パートナー</p> <p>1)(公社)鹿児島青年会議所</p> <p>2)(一社)萩青年会議所</p> <p>3)(公社)高知青年会議所</p>